



胸ヶ嶽の噴火

.....
題 言
.....

仙石貢博士たつ

恰も隠れたる名玉が再び天下に現れし如く、我が仙石貢博士は一世の讃辭を浴びつゝ、突然滿鐵總裁に返咲きをした。

大臣の椅子を捨て、閑居せる老博士を煩すは全く意外なる奇蹟である。されど之は全然適任である。我黨の巨人願はくは加餐せよ。

鐵道省工事關係の大異動は

建設局と工務局とを交錯して從來殆んど其例を見ざるの交送振りである。人心を一新するには寧ろ妙であるが、本人に取りては悲喜交々の人もあらう、唯折角努力してゐた研究を奪はれた人にはまことに氣の毒である。

竣工に近き世界最大の イミユイデン閘門工事

世界の文明國には夫々其國家を代表する様な大工事を有するものである。オランダは歐洲の小國ではあるが、本號に紹介するイミユイデンの閘門工事の如き大規模の土木工事を施行しつゝあるは、又大國民としての誇である。

イミユイデンの大閘門工事は本年末竣工の豫定であるから我が學會雜誌等に詳報せらるゝも近い内であらう。工事畫報は先づ圖版により工事計劃の一般を掲載するものである。

本稿に關し親切なる注意を與へられたる某先輩に對し深く感謝の意を表するものである。

新考案の工事用機械二種

日下部義太郎博士が考案せられたる T.N. 式ボーリング機械はローター式コパーカッション式の長所を統合したる新機械にして、然も高價なるダイヤモンドの代用品として特種の合金を使用し最も經濟的なる實績を示しつゝあるものである。

次に東京市土木局建築課に於て考案せられたる杭打工事に於ける杭の沈下測定機は、從來の不確實なる方法に對し最も簡便正確なる測定をなし得るもので、以上は何れも工事界最近の一進歩と云はねばならぬ。

近 時 斷 片

○九月一日を迎ふる毎に地震を怖るゝよりも、工事の粗漏を恐れよ。特に合理的施工を無視せる工事は最も怖るべきものである。

○眞島博士の、鐵筋混凝土工事は耐震構造として未だ全然信頼出來ない、と云ふ説は混凝土大流行の工事界に良き注告であり、良き研究の端緒である。

○地震國の一名物たる火山噴火の狀況を本號表紙に掲載して自然力の偉大さを味はんとするものである。

○朝鮮鐵道局工務課では飛行機を利用して國境方面の不便極る山地の寫眞測量を行ひ、好結果を以て空中作業を終つた由である、飛行機實用化のためにも此種作業の益々發達せん事を望むものである。

北海道十日の旅

僅かに十日の行程を以て北海道に於ける廣井勇博士の遺跡を巡り、傳記資料としての文書及び逸話を蒐集したる記者は、面會する人が悉く初對面の人なるに拘はらず、到る處すべて誠意ある會見をする事が出来、時間を有効に使ふ事が出来たのは何よりの幸ひであつた。

殊に苦熱の際にもかゝらず訪門したる諸氏が何れも懇切なる便宜を與へられたるは廣井博士の遺徳の賜物として感謝に耐へざる所である。